

## 当院における2019年の使い捨てソフトコンタクトレンズ処方実績

さくら眼科では、使い捨てコンタクトレンズ処方を行った患者さんを対象に当院の使い捨てコンタクトレンズ処方実績に関する臨床研究を実施しております。実施にあたり京都府有識者倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

### 研究の目的

2019年に、当院で使い捨てコンタクトレンズを処方した方のレンズデザインを集計して年代別の特徴を明らかにする

### 研究の方法

#### 対象となる方について

2019年1月1日から2019年12月31日までの間に、さくら眼科で使い捨てコンタクトレンズの処方を受けられた方

研究期間：承認後から2021年7月31日

#### 方法

さくら眼科において使い捨てコンタクトレンズの処方を受けられた方で、診療録（カルテ）より以下の情報を取得します。処方されたコンタクトレンズデザインについて、年代毎の特徴を明らかにして、今後の処方に役立てます。調べる項目は、2019年に当院で処方したDSCL全数について、以下の5項目です。

1. 処方時年齢：平均年齢ならびに年代別割合
2. 性別：全体の男女比ならびに年代別の男女比
3. 2019年に当院で処方したDSCL全数におけるシリコンハイドロゲルソフトコンタクトレンズ

#### 使用者の割合

4. 装用スケジュールによる分類：  
使い捨てコンタクトレンズの装用スケジュールは、1日使い捨てソフトコンタクトレンズ、2週間頻回交換ソフトコンタクトレンズ、1か月定期交換ソフトコンタクトレンズの3種を処方しています。DSCL処方全数（2019年）における3種の処方割合を調べます。また、その結果は年代別にも集計します。

#### 5. 屈折矯正のレンズデザインによる分類

屈折矯正のレンズデザインは、単焦点、低加入累進、遠近両用、乱視、遠近両用乱視の5種を処方しています。ただし、両眼とも同じ種類の屈折矯正レンズを処方するとは限らず、左右眼で異なる屈折矯正レンズを処方する場合があります。したがって、その屈折矯正レンズデザインの処方組合せの種類について調べ、DSCL処方全数（2019年）における処方組み合わせ別割合を調べます。また、その結果は年代別にも集計して提示します。

## 研究に用いる情報について

性別、年齢、処方した使い捨てコンタクトレンズの種類等

## 個人情報の取り扱いについて

カルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除して取り扱います。なお、この研究で得られた情報は、松久充子の責任の下、厳重な管理を行い患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。

## 研究組織

研究責任者	さくら眼科	松久充子
研究担当者	さくら眼科	岩崎佳奈枝
研究協力者	さくら眼科	小野田有華、篠野公二

## お問い合わせ先

また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

さくら眼科 医師 松久充子  
電話 054-263-436